

研究業績等に関する事項

著書, 学術論文等の名称	単著, 共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等 又は 発表学会等の名称	概要
(著書(欧文))				
(著書(和文))				
(学術論文(欧文)) 1. Peripheral cold sensation in patients with chronic heart failure (査読付き)	共著	2022年6月	Dokkyo Medical Journal	慢性心不全の患者をNYHAにより分類し、鼓膜温・末梢皮膚温・自律神経活動指標を比較したところ、患者の末梢冷感は慢性心不全の重症度と関連していることが示唆された。 Ryo Kayashima, Shichiro Abe, Kaori Kono, Yu Ogata, <u>Tomoko Fukuoka</u> , Akira Taneichi, Kentaro Kaneko, Machiko Yamamoto, Toshiaki Nakajima, Shigeru Toyoda (共同研究につき本人担当部分の抽出は不可能)
(学術論文(和文)) 1. 冷え症の生理学的メカニズムについて—健康成人男女の熱産生と自律神経活動による検討— (修士論文)	単著	2020年3月	茨城キリスト教大学大学院	冷え症者と非冷え症者における熱産生の差が冷え症のメカニズムの一因であることを明らかにするため、健康成人男女対象に心拍数・血圧・鼓膜温・末梢皮膚温・末梢皮膚血流量・自律神経活動指標・筋肉量・脂肪量・基礎代謝量について男女別に比較した。その結果、冷え症者では自律神経活動による末梢の血流量低下が起きておりこれは核心温を維持するための熱産生が非冷え症者とくらべて小さいことが要因の一つであると考えられた。
2. 冷え症の生理学的メカニズムについて—健康成人男女の自律神経活動と熱産生による検討— (査読付き)	共著	2022年5月	日本臨床生理学会雑誌	修士論文の一部を加筆修正し、投稿した。本研究の計画から執筆までを共著者の助言を受けながら行った。 <u>福岡知子</u> 、尾形優、茅島綾、種市輝、河野かおり、金子健太郎、山本真千子
(紀要論文)				
(辞書・翻訳書等)				
(報告書・会報等)				

(国際学会発表)					
(国内学会発表) 1. 1. 慢性心不全患者における末梢冷感の生理学的メカニズムに関する基礎的研究	共著	2020年11月	第73回日本自律神経学会総会	慢性心不全患者において、末梢冷感のある例は、皮膚血流量と末梢皮膚温が低下しており、健常冷え症者よりも鼓膜温と母趾温の較差が大きくNYHA分類における比較では、NYHA I度の例に比べNYHA II度以上の例で末梢皮膚温が低下しているという結果を発表した。 茅島綾，河野かおり，尾形優，福岡知子，種市輝，金子健太郎，山本真千子，阿部七郎，中島敏明，井上晃男	
2. 2. 学生アンケート調査にもとづく臨地との協働による臨地実習前学内シミュレーション演習の効果	共著	2020年12月	第40回日本看護科学学会学術集会	臨床指導者参加型の基礎看護学実習前のシミュレーション効果について学生を対象にアンケート調査を行った。 金子健太郎，福岡知子，中野禎久，廣瀬美和，山本真千子	
(演奏会・展覧会等) 1. 2. 3. 4.					
(招待講演・基調講演)					
(受賞(学術賞等))					

研 究 活 動 項 目

助成を受けた研究等の名称	代表， 分担等 の別	種 類	採択年度	交付・ 受入元	交付・ 受入額	概 要
(科学研究費採択) 1.						
(競争的研究助成費獲得(科研費除く))						
(共同研究・受託研究受入れ)						
(奨学・指定寄付金受入れ)						
(学内課題研究(共同研究))						
(学内課題研究(各個研究))						
(知的財産(特許・実用新案等))						